

教科名	対象学年	使用した資料（参考にした資料）	TYPE
社会	小学4年	授業アイデア集【小学校版】p25, 26	Ⅲ

授業内容	地形図の情報を読み取り、埼玉県の土地の様子を説明しよう。
身に付けたい力	地形図の情報を読み取り、県の土地の様子を様々な視点から表現できるようにする。

<table border="1"> <tr> <th>教科名</th> <th>対象学年</th> <th>学校名</th> <th>課題の見られた問題</th> <th>TYPE</th> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>4年</td> <td>豊谷市立豊沼小学校</td> <td>25年度 第 6 (2)</td> <td>Ⅲ</td> </tr> <tr> <td>授業の内容</td> <td colspan="4">地形図を読み取り、埼玉県の土地の様子を説明しよう。</td> </tr> <tr> <td>身に付けたい力</td> <td colspan="4">地形図の情報を読み取り、県の土地の様子を様々な視点から表現できるようにする。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">地形図から県の土地の様子を調べ、埼玉県の地形を説明しよう。</p> <p>【地形図を活用しながら、地形の特徴を表現させる指導】 地形図を使った活動（立体地図を調べたり立体模型を作ったりする活動など）を取り入れ、県の土地の様子をさまざまな視点を入れながら表現する。</p> <p>【土地の様子を表現】 県の左側には山が多い。低地がある。</p> <p>【方角を入れて表現】 埼玉県の方角は高く、東の方角は低い。</p> <p>【県全体をまとめて表現】 埼玉県の西部は山が多く、東部は平野が広がっている。</p> <p>【授業のポイント】 ○埼玉県の地形の特徴をつかませるには、地形図の色塗りをしたり立体模型を作ったりして作業的な体験を通して、地形について考えるようにする。 ○埼玉県の土地の特徴を、①ありのままに ②方角の視点を入れて ③全体的にまとめるなどの視点を入れながら段階的に社会的な見方や考え方を育てていく。</p> <p>【地形の特徴を体験的に知る指導】</p> <p>○厚紙に山地、丘陵、台地、平野を色塗りし、切り取る。4段の高さになるようにはり合わせた。</p> <p>立体模型      厚紙を貼り合わせた地形図</p>	教科名	対象学年	学校名	課題の見られた問題	TYPE	社会	4年	豊谷市立豊沼小学校	25年度 第 6 (2)	Ⅲ	授業の内容	地形図を読み取り、埼玉県の土地の様子を説明しよう。				身に付けたい力	地形図の情報を読み取り、県の土地の様子を様々な視点から表現できるようにする。				<p>【土地の高さと地形の意味を考えさせる指導】 簡単な地形図や等高線の動きを理解し、地形の特徴を生かしてどのように山登りをするのかについて話し合えるようにする。</p> <p>Aコース      Bコース</p> <p>山登りをして頂上を目指すならどちらのコースを選びますか？</p> <p>私はBコースで登ります。理由は道がゆるやかだからです。</p> <p>僕はAコースで登ります。坂は急だけど、登る距離が短いからです。</p> <p>この地形を山登りをする時、両方のコースにいいところと大変なところがあるんですね。</p> <p>【授業のポイント】 ○等高線と断面図を使って等高線の動きと意味についておさえる。場合によって、立体模型も使って視覚的に理解させる。 ○生活場面想定して、地形の特徴を根拠にして山登りのコースについて話し合わせる。</p> <p>【学んだことを生かして地形の特徴を表現させる指導】 今まで学んだことを生かして、他の都道府県の特徴を表現し、まとめる。その際に、他県と埼玉県とを比べる。</p> <p>東京都は台地が多いんだね。</p> <p>海の近くには平野が広がっている。</p> <p>東京都も西側に山地がある。</p> <p>東京都の地形も埼玉の地形に似ているんだね。</p>
教科名	対象学年	学校名	課題の見られた問題	TYPE																	
社会	4年	豊谷市立豊沼小学校	25年度 第 6 (2)	Ⅲ																	
授業の内容	地形図を読み取り、埼玉県の土地の様子を説明しよう。																				
身に付けたい力	地形図の情報を読み取り、県の土地の様子を様々な視点から表現できるようにする。																				

～地形図を活用しながら、地形の特徴を表現させる指導～

【授業のポイント】  
○埼玉県の地形の特徴をつかませるためには、地形図の色塗りをしたり立体模型を作ったりして作業的な体験を通して、地形について考えるようにする。  
○埼玉県の土地の特徴を、①ありのままに ②方角の視点を入れて ③全体的にまとめるなどの視点を入れながら段階的に社会的な見方や考え方を育てていく。

【授業の様子】

- 作業的な活動（埼玉県の地形図の色塗り（図1）、立体模型の観察（図2））を設けることで、児童たちは意欲をもって学習していた。
- google earth を授業で初めて活用することで、自分たちの住む町を空から俯瞰する形で見るとも驚いていた。（図3）
- 自分たちの住む埼玉県について今まで知らなかった地形の様子、特徴を知り、他の都道府県についても調べてみたいという発言がみられた。



(図1)



(図2)



(図3)

**【効果】**

- ・作業的な活動を多く行うことで、体験的に理解を深めながら、学習を進めることができた。また平面(図1)、立体(図2)、俯瞰して(図3)など、さまざまな視点から埼玉県の地形を捉えることで、埼玉県の地形の特徴を強く印象付けたり、より具体的に理解することができた。
- ・調べて分かったことを授業のポイント順に段階的に言葉で表現することで、地形の様子を表す見方や考え方を学ばせることができた。

～土地の高さと地形の意味を考えさせる指導～

**【授業のポイント】**

- 等高線と断面図を使って等高線の働きと意味についておさえる。場合によって、立体模型も使って視覚的に理解させる。
- 生活場面を想定して、地形の特徴を根拠にして山登りのコースについて話し合わせる。

**【授業の様子】**

- ・等高線の働きと意味をワークシートを用いておさえた。(図4)
- ・地形の特徴を根拠にして、山登りのコースについて考えた。(図4)
- ・寄居町の釜伏山の等高線の地図を使い、厚紙を貼り合わせ、立体模型を作って等高線の理解を深めた。(図5、6)



(図4)



(図5)



(図6)

**【効果】**

- ・作業的な活動を取り入れることで、体験的に理解を深めながら学習を進めることができた。等高線の働きや意味、平面図、断面図をおさえるのは難しかったが、ワークシートや立体模型を用いて、視覚的にイメージを捉えさせることで、理解が少しずつできるようになっていった。
- ・山登りのコースについては、地形の特徴を根拠にして一人一人が考えを書くことができた。
- ・立体模型を作製することを通して、等高線は同じ高さの場所が線で結ばれており、一番小さい線の囲みが山の頂上であるということを確認することができた。